



禁止だけでは・・・子どもは育たない！

～夏休み前に情報をアップデート～

7月2日（木）に子育てまなび講座を開催しました。今回は情報モラル教育研究所代表の上水流（かみずる）信秀先生をお招きして情報モラルについて学びました。最近では、「子どもが親から暴行を受けた」と生成 AI に相談したところ、最終的に父親が逮捕されるという報道に衝撃を受けた人も多かったのではないのでしょうか。今や大人も子どもも SNS や生成 AI を手放せない生活になっています。「我が子がネットでのいじめにあわないか」「SNS 等を長時間使用することが心配」など悩みは様々です。41 人の参加者のみなさんがそれぞれグループになって話し合うワークショップ形式で学びました。



【参加者の声 ～アンケートより一部抜粋～】

- ・生成 AI は、弟子として捉えることという最初の意識から、目から鱗でした。
- ・時間を決めて正しく使うこと。使い方について親子のコミュニケーションをとっていきます。
- ・AI を上手に利用することのメリットを事例から知ることができて大変良い学びになりました！ダメダメと禁止ばかりしていたことが、どれほど自分が無知だったかということをおもわれました。
- ・ネット・SNS＝怖いものではなく、どう使うのか、使うには何が必要か、使った結果を考えることを伝えることが大切だなと感じました。
- ・AI に対しての意識が変わりました。とてもためになり、怖さや正しい知識、AI に示させることを意識して使っていきたいです。

「情報モラル講座」の要点をまとめました。
SNSやAIが身近になった今、トラブルから子どもを守り、かつ賢く活用しましょう。

1 知っておきたい「3つのキケン」

SNSは便利な一方で、キケンも潜んでいます。
子どもを守るために「3つのキケン」で子どもに語りましょう。

(1)ばらまくキケン

たくさんの「登録」や、写真・コメント・
いいねのばらまきに注意する。

(2)つながるキケン

知らない間に…つながっていることを自覚
させる。

(3)つながらなくなるキケン

家庭としては一日5時間の壁を堅持する。

2 保護者としてどう向き合うか

子どもへの声掛けやかかわり方の一例です。
参考にしてみてください。

- ①「分かるわあ」と共感することから始める。
- ②「それ大丈夫？〇〇のキケンじゃない？」
と問いかける。
- ③「これが現実だけど」と事例でせまる。
- ④「だいじょうぶ？」と問いかける。
- ⑤ダメなものはダメと言える保護者になる。
- ⑥“自分を守ること”を第一に。
- ⑦最終的に「ほ～らきた。それか～」と思わ
せない出口にする。
- ⑧「それならできる！」と子どもに思わせる
目標を作らせる。

生成AIが先生でも、友だちでもなく、人間が
指示を出すものという捉えの下、最後に考え
て決定するのは人間（自分）であるという考
え方が大切だということが心に残りました。
SNSや生成AIの怖さだけではなく、良さも親子
で発見できるといいですね。

3 ポジティブな利活用を 体験させる夏休みにするために

AIやSNSを使うヒントにしてみてください。

(1)家族でAIを使ってみる夏休みに！

- ・AIにはそれぞれ「得意・不得意」がある。
自分に合うものを探してみる。
- ・AIに教えてもらうではなく、AIに命令し、
結果を伝える。

(2)賢く使おう！

【SNS編】

- ・遠くに住む親せきや友だちと最近のことを
伝え合う。
- ・同じ趣味をもつ仲間と作品を見せ合う
（保護者と一緒に）。
- ・災害・天気・ニュースを知る。

【AI編】

- ・自由研究の「相棒」にする（テーマ決め、
調べ方のヒント）
- ・絵日記、工作のアイデア出し
- ・英会話の練習相手
※宿題を全部任せるのはダメ。自分で考
えて答えを出したり、調べたりする力
をつけよう。

家庭教育学級 NEW トピックス

子育てまなび講座が Youtube
（かにちゃんねる）でみるこ
とができます。
今回の「情報モラル講座」を
ご覧いただけます。

【子育てに関する学習動画】



可児市子育て支援課子育て応援係 山口 亜衣
電話:62-1111 (内線5545)
E-mail:kosodate@city.kani.lg.jp